継続したCSVの取り組みが評価され、高い評価を獲得

- 「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」やCDPなど、国内外で環境（E）やガバナンス（G）を中心に高い評価を獲得。
- 「日経SDGs経営調査」では20年に環境価値賞、21年には開始以来3年連続の最高評価を獲得。

環境省「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」環境サステナブル企業部門
「金賞」2020/2021連続受賞*

2021 ESG FINANCE AWARDS JAPAN GOLD

＊ ２年連続環境大臣賞（金賞）受賞のため、2022年度以降は応募の対象外

CDP**
気候変動・水セキュリティ　両指標
3年連続　Aリスト最高評価　選出

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION A LIST 2021 CLIMATE WATER

＊＊ 世界の時価総額の50%を超える企業が環境情報を開示。A評価は上位2%程度

日本経済新聞社
第3回　日経SDGs経営調査
3年連続　最高評価獲得

NIKKEI SDGs 経営調査 2021 ★★★★★

© Kirin Holdings Company, Limited

キリングループにおける代表的なCSVの取り組み

Joy brings us together

現在、我々の事業の周辺には多くの社会課題が存在している

› キリンが社会的価値と経済的価値を共創していく４つの領域において、国内外で大きな外部環境の変化が起きている。

健康

世界

- 2025年までに、**5人に1人**が肥満（BMI30超）
- **高齢化・情報化社会の進展による健康課題**の増加（認知症、糖尿病など）
- 死亡原因の**70%**を生活習慣の改善により予防可能な非感染性疾患が占めており、そのうち77%は低・中所得国
  - ➡ 世界各地の市場で**砂糖税**を導入
- 新型コロナウィルスの死亡者数は約**560万人に**(2022年1月)

日本

- 2036年に、人口の**1/3**が65歳以上
- 平均寿命は2050年に**女性90.4**、**男性84.02**へ
- 高齢化の影響で、1990年比で2014年に**2倍**を超えた国民医療費は、その後も増加傾向
  ⇒ **予防への関心の高まり**

コミュニティ

世界

- 新型コロナウイルスの影響で、**精神疾患を抱える人が急増**。米3.6倍、仏2倍、日本2.2倍
- 児童労働に従事する子どもの数が**１億6,000万人**(2020)に。2016年比**840万人増**
  - ➡ 欧州では、人権（環境）デュ―デリ・ジェンスの義務化に向けた法制化を作業中

日本

- 生産年齢人口(15~64歳)が2050年に2020年比の**3割減**
- 基幹的農業従事者数は、過去10年で**3割**減少し、65歳以上が**69%**(2019)
- 外国人労働者数は過去10年で**約2.5倍に増加**。
  労働基準関係法令違反の疑いがある実習実施者の**70%以上で違反あり**
- 社会的孤立者割合は**27.9%**(2020)で、コロナ前より**6.7%増加**

酒類メーカーとしての責任

世界

- 毎年、アルコールの有害な使用が原因で**300万人**が死亡
- アルコール関する世界の規制や社会の関心が変化
  - ➡ WHOは、世界アルコール行動計画において、2030年までにアルコールの有害摂取**20%削減**(2010年比)の目標を含む最終稿を承認
  - ➡ Jカーヴ理論:**ノーセーフ**レベル

日本

- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する者の割合を2022年までに**男性13%**、**女性6.4%**に削減
  (現状：**男性14.9%**、**女性9.1%**)

環境

世界

- 菅元首相による**2050年カーボンニュートラル**の宣言(2020)
- 「**プラスチックに係る資源循環の促進**等に関する法律」が2022年4月1日に施行

日本

- 2050年までに、海洋ゴミに占めるプラスチックの量は、重量ベースで**魚の量を超過**
  - ➡ 世界各国でプラスチックのルール作りが加速。
- 気候変動に関連して2100年までに途上国を中心に**累計4000万人が死亡**する恐れ
- 今後数十年間で、史上最大の**約100万種の動植物種が絶滅危機**リスクに陥る
- 2050年までに、**世界人口の52%、世界の穀物生産の40%が、水不足**のリスク

© Kirin Holdings Company, Limited

COVID-19はCSVパーパスの意義と妥当性を再確認する機会に

- COVID-19感染拡大は社会に大きな影響を与え、またキリンのCSVパーパスの意義と妥当性を再確認する機会になった。
- CSVパーパスの具現化を通して、コロナ禍からの経済や社会の回復と成長に貢献していきたい。

© Kirin Holdings Company, Limited

全ての事業展開国で、アルコールの有害摂取の根絶に向けた取り組みを着実に進展させる。（Zero Harmful Drinking）

© Kirin Holdings Company, Limited

酒類メーカーとしての責任

社会課題（一例）	キリングループの取り組み	経済的価値	社会的価値
ISSUE	BUSINESS	ECONOMIC	SOCIAL
● アルコール関連問題 • 生活習慣病などの健康問題 • 20歳未満の飲酒 • 妊産婦・授乳期などの飲酒 • 飲酒運転による痛ましい事故 • 飲酒時のハラスメントの発生 • 不適切な飲酒マナーによる迷惑行為	● 適正飲酒の啓発 ● 純アルコール量のラベル表示 ● ノンアルコール・低アルコール商品の拡大 ● 従業員への適正飲酒教育	● 酒類メーカーとしての責任ある行動を通じて、信頼・共感を獲得し、酒類事業の持続可能性を高める	● アルコールの有害摂取を根絶 ● 家族や友人とのつながりや「こころ豊かな生活」に貢献

CSV

© Kirin Holdings Company, Limited

酒類メーカーとしての責任：アルコール規制に向けた動き

- SDGsでの目標設定やWHOによる警鐘、投資家によるアルコール銘柄への投資の除外など、酒類事業を取り巻く環境が変化。
- 海外における酒類の規制強化を求める動きが国内にも波及。アルコール健康障害対策推進基本計画など、酒類業界へ複数の検討課題が提示される。

日本国内の動き

アルコール健康障害対策推進基本計画（第2期）
2021年3月26日、閣議決定

広告

- 20歳未満の者の飲酒の誘引防止の観点から、企業のホームページにおいて、年齢認証等の導入に努めていく。
- 電子広告などの新たな広告媒体においても、20歳未満の者や妊産婦などの飲酒すべきでない者、およびアルコール依存症の当事者に対して、飲酒を誘引しないよう特段の配慮を行う。
- 国は広告等が依存症である者にどのような影響を与えるかについて科学的知見の集積を図り、酒類業界は知見を踏まえて必要な取り組みを検討する。

表示

- 酒類の容器にアルコール量を表示することについて速やかに検討を行う。

SDGsとアルコール関連問題

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages

3.5 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
Strengthen the prevention and treatment of substance abuse, including narcotic drug abuse and harmful use of alcohol

グローバルの多様なステークホルダーの動き

国連	・SDGsで、アルコールの有害な使用量の削減が目標指標に制定（3.5.2）
WHO	・非感染性疾患のリスク要因として不健康な食事・運動不足・喫煙と並び、過度の飲酒を減少させることを提言 ・「アルコール世界戦略実行プラン」決議における最終案： └2030年までにアルコールの有害な使用の2010年比20%削減（現在の目標：2025年まで10%削減） └枠組み条約（タバコと同様の国際規制）の言及あり
WHO欧州支部	・コロナ禍での免疫低下、精神的ストレス悪化、接触による感染拡大回避のため、酒類の規制強化を提唱
ESG投資	・ノルウェー年金基金運用会社KLPがアルコール銘柄を除外（2019年5月）

© Kirin Holdings Company, Limited